

プロも絶賛する「社会福祉法人友愛学園 友愛学園成人部」の芸術作品

このコーナーでは、ボランティア・市民活動・福祉施設の「作品」を紹介します。



30年以上前から障がい者の芸術制作に取り組んできた、社会福祉法人友愛学園（東京・青梅市）成人部。利用者の9割が「最重度」の障がいとなる施設だが、そこで生み出される陶器、和紙、織物、オブジェなど各種の作品はプロのアーティストも絶賛する。作品は、驚きや感動など、小さな発見の積み重ね。生きていることの証を形にしているとても神秘的。

職員は材料を用意するが指導はしない。「与えられるだけだった人」が材料を選び、表現する力は「すごい」。特に藍染絞りはデザイナーの山本寛斎氏をうならせた。それまで埋もれていた感性が表れ、職人の域を超えた手作業から生まれた作品は、海外で紹介され高い評価を受けた。展示販売を積極的にすすめ、毎年展示会を開催している。今年度は来春3月中旬、渋谷ヒカリエ8階で予定している。



天然発酵の藍染め作品。デザインはどれもオリジナルで斬新



ファッションをテーマに個性的なTシャツを販売している



土がほのかな香りを放つ窯場。5,000点の作品